

イエス団報

希望に生きよ!

常任理事 石田正弘



去る三月二十六日、二十七日、関西セミナーハウスにて「イエス団新任職員研修会」が開かれ、約五〇名の参加があった。木村・村山両理事は、賀川豊彦との出会いを通して、賀川の思想とイエス団の歴史を語り、特別講師の川島恵美先生は、四つのグループセッションで、互いの交流を深める指導をされた。私は閉会礼拝の奨励で、下記の三つを訴えた。

1. 生命の尊さ

現在は生命を軽視する風潮に満ちている。世界中に強盗・殺人が横行し、尊い生命が大量に失われている。「命は地球よりも重く」が何物にも替えられない思想が聖書に貫かれている。パウロは「わたしは植え、アポロは水をそそいだ。しかし、成長させてくださるのは、神である」と言う。生命の根源は、神にある事を認識して預かる乳幼児・老人・心身障がい児(者)を愛情を持って育てて生きたい。

2. 召命を受けた職業

ルターは、神より賜った職業を「天職」として自覚する必要を説いている。伝道・教育・保育・看護等の職業は、聖なる職業として自覚し、生涯を使命として生きる時、生き甲斐と喜びを感じる。ことに保育の業は知れば知る程、奥が深い。これで良いと言う限度はない。謙遜で懸命な努力を傾けてそれぞれの仕事に励んで行こう。

3. 希望に生きよ

嫌な雨は、梅雨を除いて一週間も続かない。「今日」は雨天でも「明日」は晴れる。私たちの歩む人生も、暗い悲しい時ははいけない。しかし、悔つて落とし穴が待っているかわからない。

◆発行者 雄健者 今井鎮集 編集者 黒田 所 黒田 所
神戸市中央区 吾妻通 5-5-20
社会福祉法人 学校法人 イエス団

TEL: 078 221-9565
FAX: 078 221-9566

森進一の歌う「襟裳岬」は、北海道の最果てにある。歌の終わりに「エリモには、もう春は来ない」とある。地元で生まれ育った青年は、エリモには必ず春が訪れると信じて夫婦で悪戦苦闘した。故郷を捨てて東京の大学に行きたいと願った子どもも父の姿を見て後を継ぎ、村人たちの協力一致と自然の恵みで、砂地が緑の大地に蘇った。そして日本一の「コンブ」の生産地となった。三〇年の努力は報われた。忍耐することは誰でも避けたい。今は困難でも、耐えてゆけば道は開かれる。パウロは、彼の体験で得た真理「患難は忍耐を生み出し、忍耐は練達を生み出し、練達は希望を生み出すことを知っている。そして希望は失望に終わることはない」それは、弱い私たちのために、救い主キリストが十字架に死んで下さったからである。

四月から福祉の仕事に就任される皆さんの前途は洋々と開かれている。生命の尊さを知り、仕事に誇りを持ち、困難を乗り越えて前進されるようにイエス団の諸先輩は祈っています。希望を持って生きてください。

賀川豊彦先生と私

林 啓 介

私が初めて賀川豊彦先生のことを知ったのは、旧制徳島中学二年の時だった。私たちは旧制最後の入学生で下級生はいなかった。そのため小柄な私は最前列で先生のお話を拝聴することができた。先生は母校の後輩である私たちに、清く美しく生きることの大切さと戦後日本の精神的復興を情熱をこめて説かれた。その力強いお言葉に千名を越える在校生は、肅然と耳を傾けたものだった。

それから三十数年が過ぎ、はからずも私は先生の伝記を執筆する機会を与えられた。郷土徳島を代表する人物を一人紹介してほしいという阿波文庫の井上社長の依頼だった。徳島の誇りとする人物となれば、賀川先生より他にないと思った。「炎は消えず、賀川豊彦再発見」は徳島の若い人々に賀川先生の生きざまを紹介するため、数多くの先行資料をもとにイエスの友会の黒田四郎先生、村山先生のお力添えを得て出版したものである。



賀川 豊彦

先生は私と同郷の鳴門市大麻町のご出身だったので、古老の方々の回想も得られた。当時東京の松沢資料館が建設中であった。「炎は消えず」は劇団徳島によって、賀川先生の生誕百年を祝う行事にも加えられ、鳴門、徳島、神戸、東京と先生ゆかりの土地で上演された。私も端役として出演したものだ。それからさらに二十年、昨年私は阿波銀行のご厚意とご尽力で、再び「賀川豊彦」を刊行することができた。これは先生と徳島のつながりに重点を置いたもので、今県内で進められている先生の鳴門記念館建設に少しでも役立てばこの上ない喜びである。

（賀川豊彦鳴門記念館設立をめざす会・広報委員長）

林啓介先生は、賀川先生の生家のごく近くに生まれ、徳島出身の人物紹介に度々、賀川先生の名を挙げられ執筆活動をづけられていた方です。イエス団には関係のない先生ですけれども、最近賀川先生の紹介をわかりやすく一冊にまとめられました。イエス団報への執筆をお願いしましたら、快く応じてくださいました。（黒田 純）

二〇〇〇年度 法人の動き

● 社会福祉法人の動き

1. 理事会の報告 (五回) (定員11名、現員11名)

第一回 5月16日 ①99年度事業報告、決算、②兵庫県監査報告③常任理事会報告、④新経理規定策定に関する件など6議案

第二回 8月29日 ①新経理規定策定の件、②繰越金取崩し及び補正予算の件、③施設長人事について、④豊島ナオミ荘懸案事項についてなど7議案

第三回 9月22日 ①桃陵乳児保育園の増築工事に関する件

第四回 1月15日 ①増改築工事の件、②施設長人事の件、③01年度イエス団基本方針策定について④01年度新任研修について ⑤会計制度について、⑥塩瀬山の家について、など10議案

第五回 3月13日 ①施設長人事の件、②00年度補正予算に関する件、③01年度事業計画及び収支予算に関する件、④くずは光の子園舎建替えの件など7議案

以上、五回開催、総数で30議案を討議しました

2. 評議員会の報告

第一回 5月16日 ①99年度事業報告、決算、②諸規則の改正及び定款変更に関する件、③理事会報告

第二回 8月29日 ①新経理規定策定の件、②繰越金取崩し及び補正予算の件、③常任理事会報告、

④馬見勞袴、光の子就業規則改正の件 ⑤その他(光の子保育センター)建築決算報告

第三回 3月13日 ①00年度補正予算に関する件、②01年度事業計画及び収支予算に関する件、③施設長人事の件、④くずは光の子園舎建替えの件、⑤理事会報告、⑥その他

以上、三回開催、総数で14議案を討議しました

3. 常任理事会の報告

第一回 5月2日 ①常任理事会定例化、②編集委員会の発足、③内部監査について、④施設長合同研修会、⑤ナオミ荘懸案事項報告

⑥豊島離島問題について、⑦神愛館移転問題、⑧教会&イエス団の関係明確化、⑨その他

第二回 7月4日 ①新経理規定の件、②第2回会計研修、③神愛館移転の報告、④教会&イエス団の関係明確化、⑤馬見勞袴就業規則改正の件⑥ナオミ荘今後の支援、⑦監事監査報告、⑧その他(人事、苦情処理他)

第三回 10月18日 ①新会計制度について、②苦情処理制度について、③権利書関係整理の件、④豊島懸案事項報告、⑤その他(人事)

以上、三回の常任理事会を開催し、運営上の諸案件について討議しました

4. 企画委員会の報告

第一回 6月15日 ①イエス団パンプ処置、②施設長合同研修会、③新経理規程案検討、④その他

第二回 8月21日 ①施設長合同研修会、②新経理規定策定の件、③パンプ処置 ④新任職員研修会案、⑤寄付金申込み書領収書について、⑥その他

第三回 10月26日 ①施設長合同研修会、②常任理事会他報告、③苦情処理制度一次案、④新会計制度について、⑤O.A分科会設置、⑥新任職員研修会案、⑦その他

第四回 11月29日 ①合同研修会総括、②新任職員研修会案、③経理細則検討、④会計ソフト検討、⑤その他(救済部隊分科会設置、苦情処理他)

第五回 1月18日 ①新任職員研修会計画、②稟議制度の企画、③合同中堅職員研修会基本案、④会計ソフト導入について⑤その他(理事会、共同募金他)

第六回 2月22日 ①新任職員研修会細部計画、②稟議制度の検討 ③合同中堅職員研修会案、④会計ソフト導入報告、⑤その他

第七回 3月26日 ①01年度企画委取組み課題、②合同中堅職員研修会案 ③救済部隊について、④その他

以上、7回の委員会がもたれ、各種行事の企画、及び規則、内規など制度改革について検討、起案してきました

5. 編集委員会の報告 (委員会を9月4日に開催し第2号の企画を検討) (イエス団報 再刊第2号を11月1日発行)

6. 研修会の報告

*会計研修会の開催
①4月14日(36名) ②7月21日(39名) ③10月27日(36名) ④2月27日(31名) 計4回開催

*雲柱社合同施設長研修会の開催
11月13日・14日、関西セミナー(雲柱社14名、イエス団25名参加)、外部講師 島田 恒先生

*新任職員研修会の開催
3月26日、27日 関西セミナー(新任職員45名、スタッフ13名) 外部講師 川島 恵美先生

7. その他の報告
1. 定款変更手続きについて
懸案の定款変更は6月29日、兵庫県庁に変更の予備資料を提出、指示待ち

2. 豊島ナオミ荘懸案事項の解決、(野村組、堀口氏問題)

3. 主要な人事
※01年3月31日付け 馬見勞袴施設長 花盛音羽姉退職(森田香代姉01年4月1日就任)
※00年4月1日付け 豊島神愛館、瞳保育所施設長 木俣努兄就任。

みどり野保育園園長 高見真澄姉 就任。天使の園保育園園長 木村妙子姉就任。みどり野保育園 広田和浩兄採用。

4. 新会計制度導入に関連して新経理規程を制定、会計ソフト(チャイルド社)の統一に着手、及び組織内パソコンの性能を整備してO.A化をスタートした。

5. 苦情処理制度 第三者委員、責任者、担当者などを一応の整備、今後見直しが必要

● 学校法人の動き
1. 理事会・評議員会
第一回 5月16日(理事会・評議員会) ①99年度事業報告、決算、②その他、

第二回 7月4日(理事会・評議員会) ①99年度決算の修正、②現状報告と将来計画の件

第三回 1月15日(理事会のみ) ①二葉幼稚園土地購入に関する件

第四回 3月13日(理事会・評議員会) ①土地購入に関する件、②00年度補正予算に関する件、③01年度事業計画及び収支予算に関する件、以上のように、四回の理事会、九回の評議員会が持たれ、諸議案を討議いたしました

2. 土地購入について
*01年10月に、園庭拡張の為、以下の土地を購入する事に決定しました、感謝です。面積四〇五・一八㎡(二二・五六坪)、幼稚園北隣り(西宮市甲子園三保町41)費用総額 一五一、五千元。

【特記事項】
1. 今井理事長 (財)日本キリスト教文化協会より表彰(キリスト教功労者顕彰、11月13日)

2. 本部署事務局 新人職員2人体制の初年度(近藤孝子姉 7月31日付け退職)

【お詫びと訂正】
再刊第2号、2P、社会福祉法人の新体制について、評議員の欄に一麦保育園、梅村貞造園長のお名前が抜けておりました、ここにお詫びとともに訂正いたします

各ブロックの動き

【京都ブロック】

空の鳥幼児園：十二年度は京都市の補助金+修繕引当金取り崩しで、園舎を改築、改修してのスタートで、子ども達ものびのびと育ち、9名が卒園していきました。知的障害児施設の措置費制度から利用者制度へ移行するかも知れない昨今、園の特徴として、統合保育と重度肢体不自由児受入。将来重症心障害者通園事業も見据えて、理学療法士、作業療法士を雇用、十三年度、肢体不自由児（重度含む）8名を療育していく上で、三月末に部屋の改装も行なった。新しい時代にも対応できる施設を目指していきたいと思えます。

野の百合幼児園：三月に巣立った子どもたちは、小学校に送り出すのを案じるほど腕白ぞろい。喧嘩のたえないクラスで縦割りグループ保育、統合保育で考えさせられた一年でした。その子たちが空の鳥の重い障害児と一緒に育つた卒園遠足で見た姿に共に育つ中で幼い人、弱い人への思いと自分を役立てる心が身についているのです。いつも喜び、たえず折りあふれる感謝をもち今年度もよりよい保育を目指してまいります。

桃陵保育園：京都市地域子育て支援ステーション「みちくさ・ひろば」がスタートして4年目を迎える。月一回、ホールを利用して親子の遊び、園児の歌、自由タイムを楽しむ。参加者は、毎回三〇組。新年度は更に二ヶ月に一回ホール開放を増やす予定。

【兵庫ブロック】

神視保育園：発表会で「桃太郎」を演じた5才児達は、心を合わせて大活躍。拍手喝采大好評！チビツ子タレント達は、堂々と胸を張って卒園して行った。

一妻保育園：震災後の区画整理と併行して園の周辺はマンションや住宅の建設ラッシュ。地域の人口増加で待機児も増え、定員を超えて新年度スタート。

のぞみ保育園：今年度より低年齢児の卒園のため、保育をしながら増改築工事をした。大変だったが、部屋が広くなって新学期を迎えられた。

神戸保育専門学院：3月、卒業生全員が希望する所に就職。二十名が保育園や福祉現場へ。一名が劇団へ。皆様のご協力に感謝。二名残念ながら留年。

甲子園二葉幼稚園：新しい土地に移って五年あまりたちました。順調な歩みをつづけています。新年度は教諭一名、事務職員一名と新たな力を与えられてスタートします。

真愛ホーム：今年度5周年を迎えます。①5周年史を作る ②記念感謝会を十月十三日（土）に開催予定です。激動の高齢者福祉。力を合わせます。

天隣乳児保育園：今、園庭には、沢山の花が咲いています。花の押し花を卒園アルバムの中に入れていきます。いつまでも保育園の事を忘れないでね。

たんぼぼ保育園：開園二年目を迎えました。園児数が少なくてさびしいです。今年も天隣と交流し沢山のお友達と一緒に成長したいと願っています。

杉の子保育園：二月末日、一泊二日で五才児一六名が神鍋スキー場へ行きまし。雪だるまやかまくら作り、ソリスベリを楽しみました。三月二四日、思い出を胸に卒園しました。

【大阪ブロック】

大阪ブロックは、大阪・奈良・和歌山地区に十一ヶ所の施設があります。小川、浜田両氏の健康が不調だった事もあってブロック集会は開催されませんでした。

天使の園保育園：園長の交代があつて1年が経ちました。漸次、運営も順調に運んでいます。

聖浄保育園：園長はじめ職員の方々と保護者の理解があつて、以前のように乳幼児が増加していることは、何としても嬉しい。近藤先生の後、三好牧師が代務者として奉仕くださったおかげで会員は少しずつ増加している。さらに今年より、南大阪教会の原忠和牧師が赴任されるので、教会に活気が満ちることが期待される。

くずは光の子保育園・ケアハウス楠葉新生園：老朽施設として全面的に改築が計画され、9月より着工。平成十四年四月に完成予定。

愛之園保育園：神谷園長を中心に職員達が協力一致してガンバっています。馬見労働保育園：花盛園長が3月末に隠退され、4月より森田香代姉が就任された。

天使保育園・ガーデン天使、他：アメリカのユニバーサルスタジオが近隣に開設されたので、町が賑やかになって来た。



【四国ブロック】

四国ブロック（豊島神愛館、豊島ナオミ荘、瞳保育所・坂出育愛館・光の子保育園）は、それぞれの施設が、徳島、香川の両県に位置している上に、豊島の施設が海を隔てている事情もあって、施設長が顔を合わせて情報交換をする機会を多くもつ事が困難なのが現状ですが、2000年度は、六月十三日に坂出育愛館において施設長会を開催し、各施設の1999年度事業報告、会計決算報告を行いました。お互いの情報交換によって様々な問題をかかえながらも、それぞれの地域に根ざしてニーズに応え、福祉の推進に努力していることが報告されました。

また2000年度は七月十一日〜十三日に丸亀市のオークラホテルにおいて第四回中国・四国地区乳児院研究協議会が「赤ちゃんを大切に」のテーマで盛大に開催され、豊島神愛館の木俣館長はじめ職員の方々が世話役で奉仕されました。会場が丸亀市という事も幸いし、この研修会には坂出育愛館の職員も参加させていただき、共に学びと職員間の交わりの場が与えられました事を感謝いたしております。

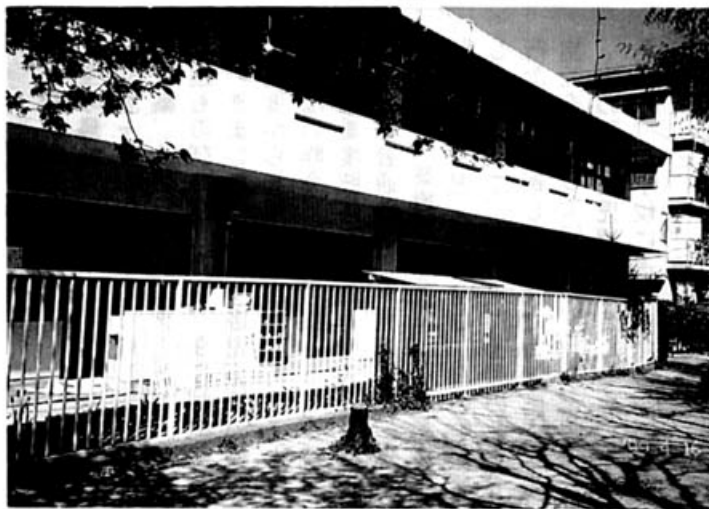
今、福祉事業は変革の時です。民間の社会福祉参入。新会計基準への移行。社会福祉法による苦情処理機関の設置。第三者評価。少子高齢社会における福祉内容のニーズの多様化等々、制度は年々変化をしています。しかし時代の移り変わりの中にあつて「変えていかななくてはならないもの」「変えてはならないもの」を見きわめ、地域に根ざし最徹者（いと小さきもの）に仕える業に励んでまいりたいと願っています。（報告：品川卓也）

イエス団の施設 ④

保育所

桃陵乳児保育園

- ◎住所／京都市伏見区西奉行町1
- ◎創立／一九六五年五月五日
- ◎定員／九〇名、年度途中入所約一三名
- ◎職員数／施設長一名、保育士二五名、栄養士一名、調理師一名、事務員一名、パート八名
- ◎施設長／木村量好



◆◆◆DATA◆◆◆

最寄りの交通機関：JR京都駅より近鉄「桃山御陵」駅下車徒歩5分
TEL 075-611-3307 FAX 075-612-1421

一九六五年五月五日に京都・伏見に乳児保育園（定員六〇名）と隣保事業を併設して開始する。当初より産休明けからの〇歳児保育、長時間保育を実施する。保護者の要望により一年後には幼児部・学童保育を開設。一九七〇年から障害児保育を開始する。

当園の総主題は「共に生き共に育つ」で「平和を見つめて」が副主題である。私たちが神にかけがえのないものとして創られ、生かされていることを保育の原点におきつつ、キリスト教保育を行なっている。

近隣は、宇治川、桃山御陵、古い酒蔵、歴史的な街道など恵まれた環境にあり、園児の散歩コースとして慣れ親しんでいる。

今年度定員九〇名となつて三十四年来、手狭であつた給食室の増改築工事を行ない、給食用リフトを設置すると同時に階下の職員ロッカー室の増改築、外周フェンス一部設置も行なう。予定通り三月中旬に完成。感謝と喜びと共に新年度を迎える。



イエス団の施設 ⑤

軽費老人ホーム

ケアハウス 楠葉新生園

- ◎住所／枚方市楠葉朝日一の二二の十四
- ◎創立／一九九四年四月一日
- ◎定員／三〇名
- ◎施設長／石田正弘



◆◆◆DATA◆◆◆

最寄りの交通機関：京阪電鉄「楠葉駅」下車徒歩約10分
TEL 072-851-1600 FAX 072-857-3630

地域に住む老人の健康と幸福のためにキリスト精神に基づいて設立したホームです。六十才以上の方であればどなたでも入居できます。

私達の特色は、長い老後の生活を寝たきりにならないで「自立」を目標にする事です。日常お世話できることは、食事の提供、入浴の準備、各種生活相談、疾病・負傷等緊急時の対応などですが、老化の進む方には、介護の度合いによってホームヘルパーさんに来てもらう事ができます。何よりも住宅街にあつて、買い物や医院に通えますし、京都・大阪への交通に便利な所にあります。その上、経費が安いことです。少数で家族的であり、自由な中にも共同生活によって喜びを味わう事もできます。事前に電話があれば、見学してください。経営的には苦しいですが、イエス団・イエスの友会の同志達の支援を得て感謝しています。

《編集後記》

※新会計への移行事務。てんでこまいの決算だったろうとお察しします。法人もコンピュータ化が進んでいます。くれぐれも機械に使われないようにしたいですね。

※第3号をお届けします。お忙しい中、原稿をお寄せいただいた皆様、ありがとうございました。

(信)